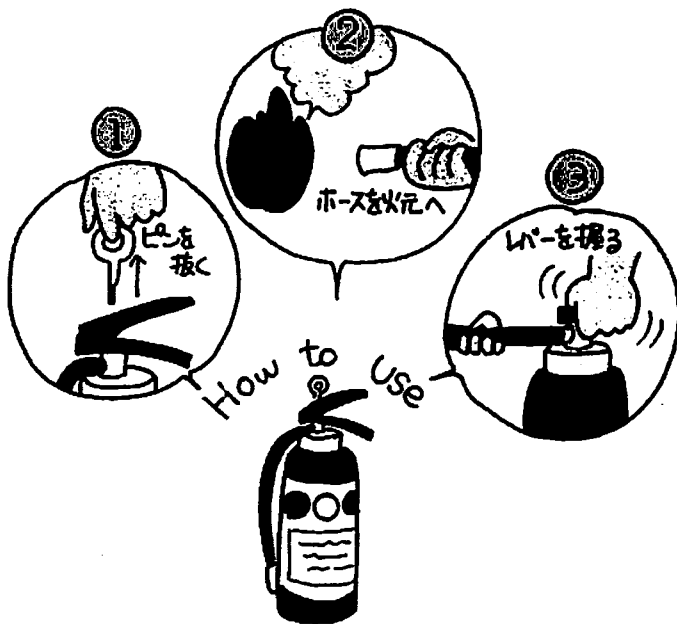


日時 平成 29 年 2 月 23 日 (木)
9 時 30 分～11 時 30 分
会場 粟田町内会館

火災予防対策について

- 1 火災件数と火災原因
- 2 DVD 鑑賞 「 火災から命を守る 8 つのポイント ～3 つの習慣 5 つの対策～ 」
- 3 防火講話 「 放火火災を防ぐために！ 」
「 電気器具火災を未然に防ぐために日頃から心がけておくこと 」
「 こんろ火災（てんぷら油火災）への対処方法 」
- 4 住宅用火災警報器について
- 5 消火器の取扱い方法



イラストは、全国消防長会及び一般財団法人 日本消防設備安全センターのホームページからダウンロードしています。

事務担当 横須賀市南消防署 予防係
千葉、柳井
電話 (046) 833-1276

住宅防火 いのちを守る 8つのポイント

～ 3つの習慣・5つの対策 ～

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。



5つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。
- 放火に注意！地域全体で「放火されない環境づくり」に取り組む。

門扉・物置
・車庫には
カギをかけ、
外部から侵入
できないようにする



電気器具火災を未然に防ぐために日頃から心がけておくこと

電気器具は、使用方法を誤ったり、使う環境によっては思いがけない火災を引き起こす可能性があります。電気器具火災を未然に防ぐために日頃から心がけておくことをご紹介します。

電気器具火災の出火原因 { 粗雑に扱うなどの不適切な環境での使用
使用方法の誤り

火災原因とその対策

- 電気ストーブへの可燃物の接触

- 電気こたつヒーター部への可燃物接触

- IHこんろにおける少量の油での揚げ物調理

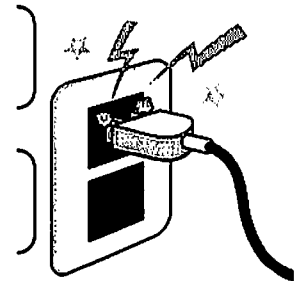
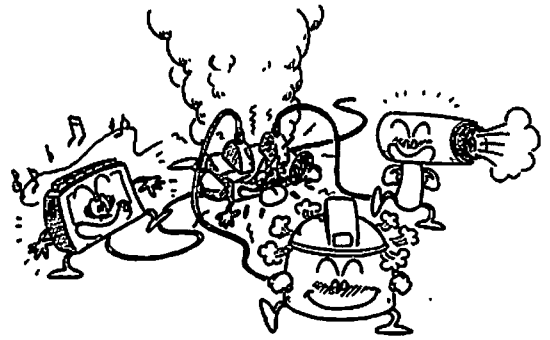
- アルミ蒸着フィルムで包装された冷凍食品を開封して電子レンジで加熱

- 延長コードの上に移動式ラック等のキャスターがのり、コードの被覆や中の電線を傷つけることにより発火【判断線】

- 延長コードを束ねることにより熱がたまり被覆が解けて発火【蓄熱】

- 延長コードの許容量以上の使用による発火【タコ足配線】

- コンセントや差し込みプラグの隙間に水分やほこり等があると、この表面で小規模な火花放電が発生、新たな電気の通路（トラック）ができ、その部分で樹脂部が徐々に炭化して電気が流れ出して発火【トラッキング】



○ 評価シートA (個人用)

A. あなたのお宅の放火火災に対する危険度の評価シート



以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の家の危険度をチェックしてみましょう。

質問	回答
1 前面道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
2 付近の道路は、深夜でも人通りがありますか？	<input type="checkbox"/> 多少・かなりある <input type="checkbox"/> ほとんどない
3 建物前面の道路には、街路灯が設置されていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
4 自宅付近で放火が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input type="checkbox"/> 発生したことがない <input type="checkbox"/> 発生したことがある
5 付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したこと(聞いたこと)がありますか？	<input type="checkbox"/> 発生したことがない <input type="checkbox"/> 発生したことがある
6 門扉には夜間鍵をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ・門扉がない
7 道路に面した車庫や物置には夜間鍵をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい・道路に面した車庫や物置がない <input type="checkbox"/> いいえ
8 敷地内に他人が簡単に入りにくくなっていますか？	<input type="checkbox"/> 入りにくい <input type="checkbox"/> 入りやすい
9 深夜でも玄関灯や門灯をつけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ・玄関灯や門灯がない
10 長期に留守する際、新聞配達を止める、室内の照明を点灯させておく等、放火対策として心がけていることはありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
11 侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具のいずれかを設置していますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
12 建物のまわりや共用の廊下・階段に、新聞や雑誌等の燃えやすいものは置いてありませんか？	<input type="checkbox"/> 置いていない <input type="checkbox"/> 置いている
13 ごみは回収日の決められた時間帯に出すようにしていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
14 自転車・バイクのカゴ等に、燃えやすいものを放置しないよう心掛けていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
15 郵便受けの新聞等は早目に取り込んでいますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
16 車両・バイク・自転車には、ボディカバーを使用していますか？	<input type="checkbox"/> 車両を使用していない・防災製品のボディカバーを利用している <input type="checkbox"/> 通常のボディカバーを使用している
17 住宅用火災警報器を設置していますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
18 火災発生時の119番通報について、家族や近隣と話し合ったことがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
19 家庭内に消火器等を設置していますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
20 消火等の使用方法は、ご自分を含め家族の皆さんが知っていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
21 付近に監視カメラ等の放火火災対策機器は設置されていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ・知らない
22 隣近所と気軽に声を掛け合っていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
23 特に宿泊するような外出時には、隣近所へ声をかけていますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
24 近隣者と放火火災防止の取り組みについて話し合ったことがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
25 家族や近隣と放火火災防止のための話し合いをすることはありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
26 地域で火災予防講習会等が開催される場合、参加しますか？	<input type="checkbox"/> できるだけ参加する <input type="checkbox"/> 参加しない

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて採点してみましょう。 → 「採点票」へ進む

○ 採点票（個人用）



先ほどの評価シートA(個人用)でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものだけが得点することができます。

得点したものについては配点欄に○印を付け、そして、○印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう。

中項目	質問番号 (小項目)	回答内容	配点	中項目ごとの 合計点
1 環境要因	1	はい	20	点
	2	多少・かなりある	19	
	3	はい	25	
	4	発生したことがない	18	
	5	発生したことがない	18	
2 敷地・建物への 侵入防止	6	はい	19	点
	7	はい・道路に面した車庫や物置がない	18	
	8	入りにくい	13	
	9	はい	20	
	10	はい	18	
	11	はい	12	
3 可燃物等の整理	12	置いていない	24	点
	13	はい	21	
	14	はい	17	
	15	はい	20	
	16	車両を使用していない・防災製品のポディーカバーを利用している	18	
4 火災の初期対応	17	はい	17	点
	18	はい	21	
	19	はい	21	
	20	はい	24	
	21	はい	17	
5 家族や近隣との 協力体制	22	はい	20	点
	23	はい	16	
	24	はい	23	
	25	はい	21	
	26	できるだけ参加する	20	

自由意見欄（回答を終えた感想等をご記入ください。）

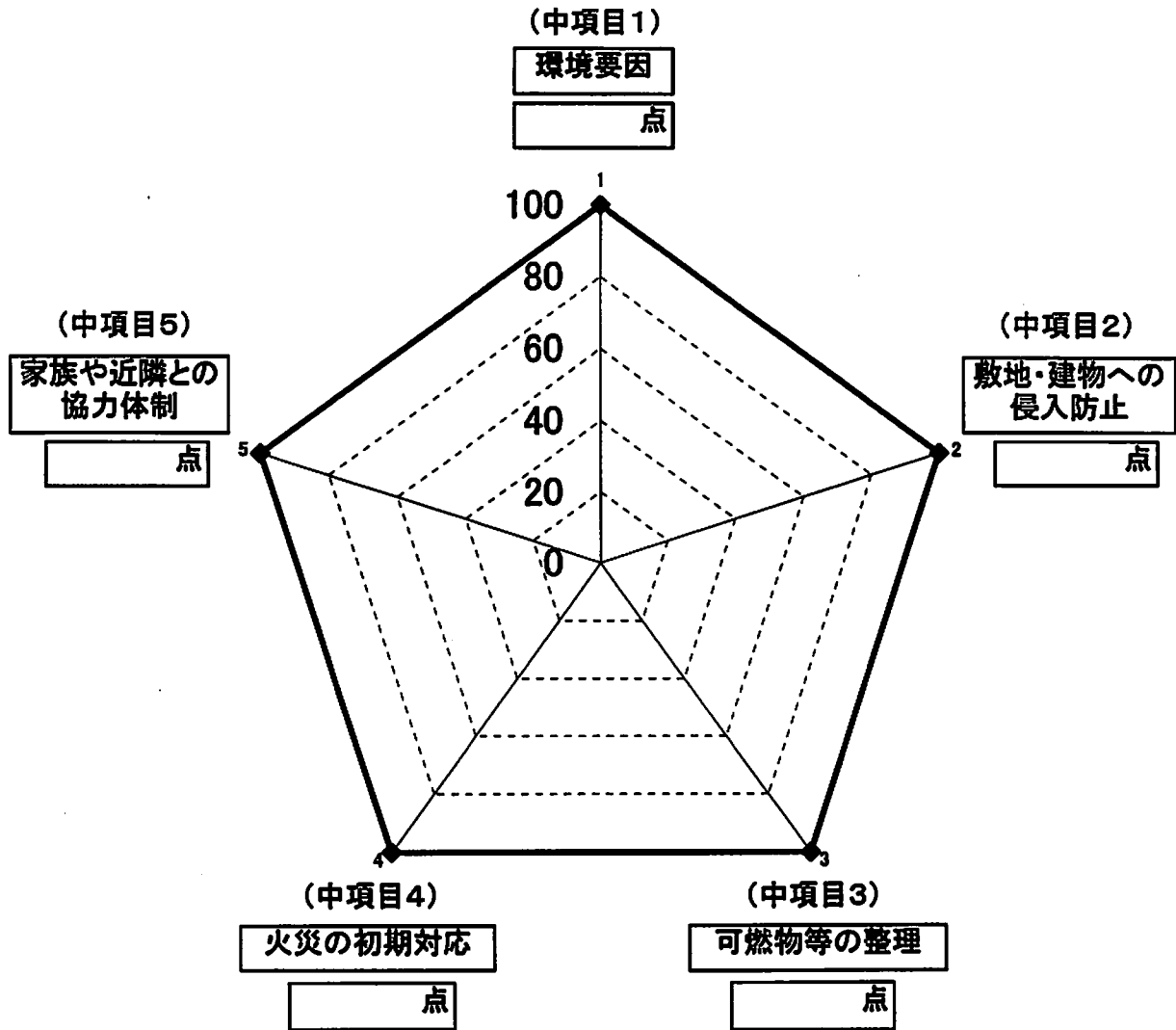
中項目ごとの合計点を記入し終えたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャートに中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。 → 「評価結果票」へ進む

○ 評価結果票（個人用）

あなたのお宅の放火火災に対する危険度 評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。

そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例(個人用)」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

→ 「対策集例」へ進む

○ 対策集例（個人用）

A. あなたのお宅における放火火災の防止に向けた対策集例

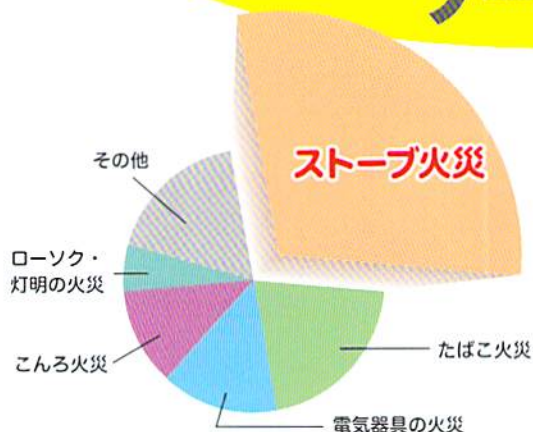
中項目	対応策の具体例
1. 環境要因	<ul style="list-style-type: none"> ◆自治会が行うパトロールに参加する。 ◆地域における一声運動に心掛ける。 ◆街路灯の設置や玉切れの交換を自治会等に要望する。 ◆不審な通行人に気付いたら動向に注意する。 ◆放火監視機器設置済の表示を出す。
2. 敷地・建物への侵入防止	<ul style="list-style-type: none"> ◆門扉・車庫・物置等、夜間における施錠管理に心がける。 ◆容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。 ◆建物や敷地に死角をつくる要因となる物の整理整頓を行う。 ◆死角となる箇所に侵入監視センサー等を導入する。 ◆これらの機器が作動した場合の初動対応について把握しておく。 ◆地域連携の警戒パトロールに参加する。 ◆玄関先を明るくするための照明器具の導入を進める。 ◆長期間留守にする場合には、新聞配達を止めるようにする。 ◆長期間留守にする場合には、近隣住民への声かけを行う。 ◆チェーンロックを使用する。 ◆インターホンシステムを導入する。 ◆建物外壁の不燃化と補修を行う。
3. 可燃物等の整理	<ul style="list-style-type: none"> ◆可燃物は部外者の目に届かない場所に整理整頓する ◆ごみの回収日を把握しておく。 ◆ごみ回収のルールを徹底する。 ◆自転車等のカゴに物を放置しないようにする。 ◆車両等のボディカバーは防災製品を使用する。 ◆新聞やチラシはこまめに取り込む。 ◆郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。
4. 火災の初期対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆消火器や簡易消火具を設置する。 ◆消火器の使用方法は家族みんなが把握しておく。 ◆放火監視機器や住宅用火災警報器を導入する。 ◆これらの機器が作動した場合の初動対応について、把握しておく。 ◆消防署・自治会・町会等が行う消火活動訓練に参加する。
5. 家族や近隣との協力体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆近隣者との親睦を深め、お互いの放火火災防止の工夫など話し合っておく。 ◆長期不在や外出時には、「お隣さんへ一声かけて」運動をお互いに習慣づける。 ◆町会・自治会を母体とした自主防災組織への参加意識を高める。 ◆日頃から家族で放火火災防止対策の心構えを話し合っておく。 ◆地域で開催される防火講習会や消防訓練等に参加し、放火火災予防への関心を高める。 ◆広報資料やパンフレットの内容を理解し、防火意識の向上を心掛ける。 ◆幼年・少年消防クラブ活動の趣旨を理解し、防火を通じた子供たちの育成に協力する。

高齢者の 住宅火災予防策



住宅防火対策推進協議会

高齢者の方に多い火災原因 ワースト5



第1位 ストーブ火災

- 第2位 …… たばこ火災
- 第3位 …… 電気器具の火災
- 第4位 …… こんろ火災
- 第5位 …… ローソク・灯明の火災

こんろや仏壇のローソクの火が袖についた例が多く発生しています。また、着衣に火がついて亡くなられる方の多くが高齢者です。

洋服などに火がついてしまったら、こんな消し方もあります！
火がついたからといって、あわてて走りまわるとかえって火は大きくなります。

着衣着火の消火ポイント

火が小さいうちは、
たたいて消しましょう。



部屋に花瓶などがあれば、
その水で消しましょう。



近くに流しやお風呂場があれば、
そこにある水をかけて消しましょう。



横になれるところでは
転がって消しましょう。



エプロンなどは
すぐ脱いで
消しましょう。

高齢者の方に多い火災原因

第1位 ストーブ火災

ストーブ火災 予防のポイント

ストーブは、燃えやすいものから離して使いましょう。

洗濯物などが
ストーブの上に落ちて着火



布団のそばで
電気ストーブを
使用して着火



火をつけたまま給油して、
こぼれた灯油に着火

火をつけたまま
移動しようとして、
手が滑って落し畳に着火



ストーブのヒヤリハット事例



ストーブの近くでスプレーを使ってガスに着火

古いストーブは使っていて変だなと感じたら、使用をやめ販売店やメーカーに相談しましょう。
お手入れは定期的に行いましょう。

「居室」の住宅用防災機器

- 防災カーテン
- 住宅用火災警報器(住警器)
- 住宅用スプリンクラー

住宅用消火器

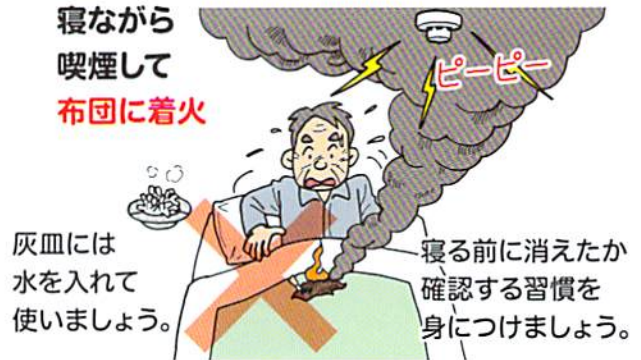


高齢者の方に多い火災原因

第2位 たばこ火災

たばこ火災 予防のポイント

寝たばこは絶対にやめましょう。



もしも火事になったら...



タオルなどで口を押さえ、
低い姿勢で避難しましょう。

たばこのヒヤリハット事例



たばこの火が
衣服に落ちて着火



火が小さいうちは
たたいて消しましょう。

「寝室」の住宅用防災機器

- 住宅用消火器
- 住宅用火災警報器（住警器）
- 防災布団

住宅用スプリンクラー

家庭の水道配管を利用した消火設備です。



防災布団を使用すると、火災の広がりを
抑えてくれます。



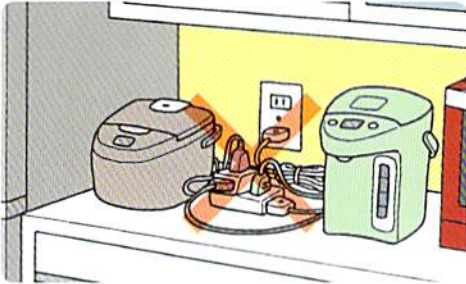
防災布団

防災ではない布団

第3位 電気器具の火災

電気器具の火災 予防のポイント

電気器具類は、説明書を読み、
正しく使いましょう。



たこ足配線をすると、
コンセントやプラグが
熱くなって発火する
恐れがあります。
たこ足配線は絶対に
やめましょう。

コンセントは
定期的に掃除しましょう。

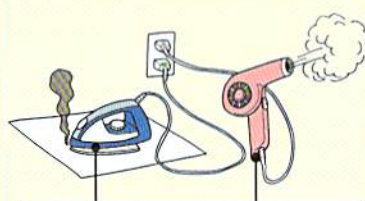


コンセントに埃がたまると
発生するトラッキング火災

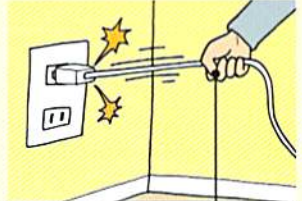
ソファなどの足で
コードを踏まない。



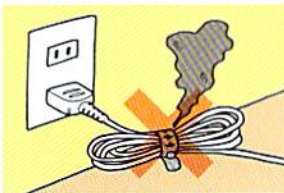
電気器具のヒヤリハット事例



アイロンやドライヤーは
使い終わったら電源を切る。



コードを引っ張って
抜かない。

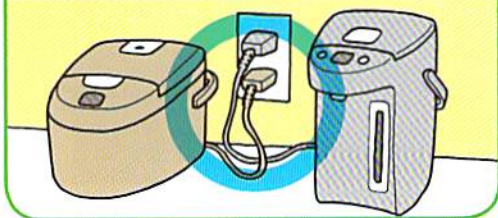


コードは束ねて使用しない。



痛んだコードは
交換する。

コンセントは正しく使いましょう



「居室」の住宅用防災機器

- 住宅用消火器
- 住宅用スプリンクラー

住宅用火災警報器
(住警器)

ガス警報器

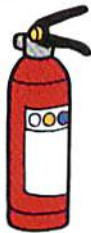


高齢者の方に多い火災原因

第4位 **こんろ**火災

こんろ火災 予防のポイント

ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。



住宅用
消火器



スプレー式
消火具

防災アーム
カバー

防災
エプロン



安全装置付きの
こんろを使いましょう。



こんろのヒヤリハット事例



ちょっと目を離れたすきに
天ぷら鍋に火がついた



こんろの奥のものを
取ろうとして、袖に着火した

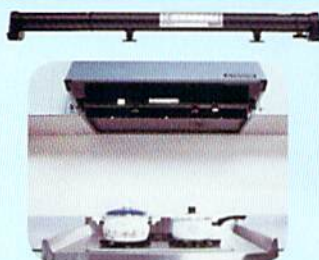


エプロンやスカーフに
こんろの火が燃え移った

「台所」の **住宅用防災機器**

- 住宅用消火器
- 住宅用火災警報器（住警器）
- 防災アームカバー
- 防災エプロン

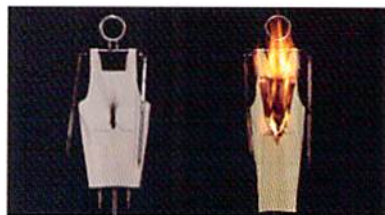
コンロ用自動消火装置



台所で袖に火がついたら、
すぐに水道の水をかけて
火を消しましょう。



防災エプロンを使用すると安心です。



防災エプロン 防災ではない
エプロン

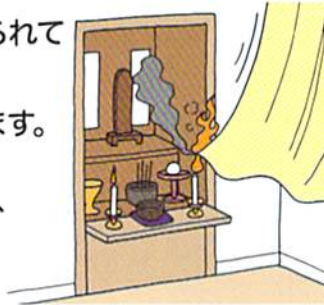
第5位 ローソク・灯明の火災

ローソク・灯明の火災 予防のポイント

部屋を出るときは、ローソクの火は消す。
お線香の火は消えていることを確認する。

風でカーテンがあおられて
ローソクの火が
燃え移ることがあります。

その場を離れるときは、
ローソクの火を
消しましょう。



火のついた
ローソクが倒れて
座布団に着火する
ことがあります。

防災座布団を
使いましょう。



仏壇のヒヤリハット事例



ローソクの火が
髪の毛についた

すぐにたたいて
消しましょう。



ローソクの火が
衣服の袖についた



そばにある花瓶の
水などをかけて
消しましょう。

防災品ラベル

防災品ラベル

防災品には右のよ
うな防災ラベルが
付いています。

消防庁登録者番号

防 災
登録確認機関名



もしも火事になったら…

タオルなどで
口を押さえ、
低い姿勢で
避難しましょう。



あなたの家の住宅用火災警報器(住警器)は大丈夫ですか？

点検のポイント

点検ボタンを押す

点検ひもをひっぱる



設置してから10年以上経過している警報器は、電池交換ではなく本体交換をおすすめします。

こんなときも交換しましょう！

故障警報が鳴ったとき

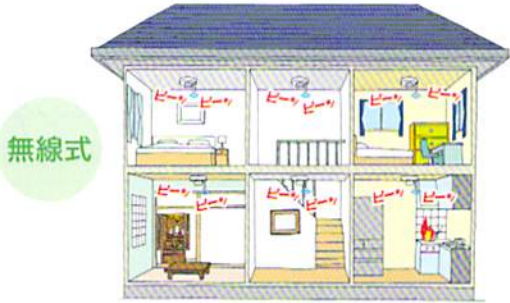
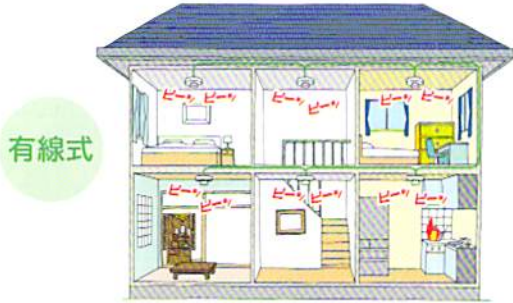
破損や変形したとき

大量の水滴などが付着したとき

点検しても音が鳴らないとき

連動型 住宅用火災警報器

連動型 住宅用火災警報器は、火災を感知すると他の居室に設置された警報器も連動して警報が鳴ります。単独型よりも火災の早期発見・早期対応に効果があります。



万が一火事になってしまったら、無理に消火しようとしないで、大声で火事を知らせながら避難しましょう。

火事です！

火事 119 救急

住所 ○○市○○町
○○丁目○○番地

目標 ○○マンション東側

火事だー！

あわてず、落ち着いて119番に通報しましょう。
必要な情報をメモして電話のそばに貼っておきましょう。 **大きな声で助けを呼びましょう。**

住宅用火災警報器は定期的な 作動確認とお手入れが 必要です。

平成23年6月1日から
すべての住宅に
設置が義務付けられたよ!



定期的な作動確認を しましょう。

住宅用火災警報器は電池が切れると
作動しなくなります。



- 定期的に点検ボタンを押すなどして作動確認を行ってください。
- 作動確認の方法は機種によって違いますので、取扱説明書をご覧ください。

汚れていたら お手入れをしましょう。

警報器はホコリなどが付くと
誤作動をする場合があります。



- 汚れている時や定期的に乾いた布などで汚れやホコリを取り除きましょう。
- お掃除の方法は機種によって違いますので取扱説明書をご確認ください。

設置による効果

死者数、焼損床面積及び損害額を見ると、住宅用火災警報器を設置している場合は、設置していない場合に比べ、**死者の発生は2/3、焼損床面積、損害額は概ね半減。**

(人/火災100件)



住宅火災100件当たりの死者数

(㎡/火災1件)



焼損床面積

(千円/火災1件)



損害額

平成23年から平成25年までの3年間におけるデータ分析結果(総務省消防庁調べ)

不適切な訪問販売などに注意!

消防職員や、点検業者などを装って訪問し、言葉巧みに警報器の設置や点検を進める業者には注意しましょう。不審・不安に思われたら、最寄りの消防署か横須賀市消費生活センター(TEL 821-1314)にご連絡ください。
※住宅用火災警報器は、資格者による点検義務はありません。ご自分で維持管理しましょう。

警報器は
クーリングオフの
対象品です。



住宅火災を防止するために

命を守る7つのポイント(3つの習慣・4つの対策)

3つの習慣

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

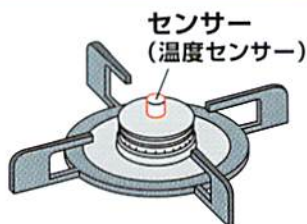


4つの対策

- ① 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器を設置**する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品を使用**する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等を設置**する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

ガスコンロに温度センサーはついてますか？

ガスコンロ火災の原因で、もっとも多い「消し忘れ」による事故を防止するために、すべてのバーナーにセンサーが装備されたガスコンロを**Siセンサーコンロ**といいます。



Siセンサーコンロには、

天ぷら油過熱防止装置

立ち消え安全装置

消し忘れ消火機能

がすべてのコンロバーナーについています。

あんしん機能が充実した**Siセンサーコンロ**のご使用をおすすめします。

防災品を使って防火対策を！

防災品とは繊維の性質を改良し、**燃えにくくすること**によって、繊維製品が「もえぐさ」となって発生する火災を予防するものです。

カーテンや寝具などは、火がついても燃え広がらずに、火種を取り去れば消えてしまう加工がしてある**防災品**の使用をおすすめします。

燃焼比較：火のついたタバコを2種類の寝具の枕もとに置いた燃焼実験です



お問い合わせ先

横須賀市消防局

● 予 防 課 ☎821-6466

● 北 消 防 署 ☎861-0119

● 中央消防署 ☎820-0119

● 南 消 防 署 ☎836-0119



もしかして
火事？

住宅用火災警報器が 鳴っています!!



火事です / 火事です



- ①どこで鳴っているか
- ②何が燃えているか

確認できた

確認できない

小さい
又は
低い

炎が背丈よりも小さいか
又は炎が天井よりも低い

大きい
又は
届いている



- ①消火できなかった
- ②住宅用消火器の消火剤がなくなった
- ③炎が天井まで届いてしまった



- ①落ち着いて安全確認を
- ②住宅用消火器は火元を狙って放射する

消防へ通報する
火が消えても必ず消防に通報する

消防への通報のしかた



「119」をプッシュ

消防です。火事ですか、
救急ですか？



火事です！！

住所はどこですか？



出火場所の住所と名前を伝えます

近くに何か目標が
ありますか？



目標となる建物や交差点などを伝えます

何が燃えていますか？



燃えている場所、物を伝えます

燃え方やけが人は？



火災の様子、けが人の状況を伝えます

住宅用消火器の操作方法是こちら！



①安全栓を
引き抜く



②ノズルを火元
に向ける



③レバーを強く
にぎる

一刻館は寝たばこ禁止の巻

めぞん一刻

© 高橋留美子 / 小学館



たばこは、
一、ふとんで吸わない
二、灰皿には水を入れて
三、消えたかどうか
絶対確認!



寝たばこ、
あなたも気をつけて。

たばこ火災防止キャンペーン

後援：消防庁 全国消防長会 制作：一般社団法人日本たばこ協会

寝たばこ火災、あなたは大丈夫？

郷音子さんの あんしんチェック



✓ チェックがついた方は、今日から生活を見直してくださいね！

ふとんやベッドの
近くに灰皿を置いている

ウトウトしながら
たばこを吸うことがある

ふとんに落ちた火種は、炎が出ないままくすぶり続けて、気づかないうちに燃え広がることがあるんです。そのまま寝てしまうと煙により一酸化炭素中毒になることもあります。



だから

1 たばこは「**ふとんで吸わない**」
くださいね。

灰皿以外のモノを
灰皿として使うことがある

灰皿に山盛りに
吸い殻をためている

空き缶などを灰皿として使用せず、たばこは水を入れた「灰皿」で確実に消火しましょう。消したつもりなたばこの火が、まわりのモノや他の吸い殻に燃え移り、火事になってしまいます。



だから

2 「**灰皿には水を入れて**」
使ってくださいね。

寝る前にたばこの火を
消したか確認する習慣がない

灰皿の吸い殻をごみ箱に
捨てる時、火が消えている
ことを再確認していない

「自分だけは大丈夫」という油断でたばこ火災がおこるんです。たった1本のたばこが、大切な家や命を奪ってしまうことも。おやすみ前は特に注意が必要です。



だから

3 「**消えたかどうか絶対確認!**」
してくださいね。